

行政評価（外部評価）結果総括表

＜平成22年度実施計画分＞

平成23年6月

行政評価（外部評価）結果総括表（平成22年度実施計画）

第1節 産業を創造しゆたかで元気なまちをつくる

第1項 川西ブランドの創造

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
産学公による調査、研究機関の創設と川西ブランドの創造	課題あり	政策実現としての進捗が見られない。構成のみ概ね有効で地場産品を生かした川西ブランドで食産業間の体制整備を図られたい。また、活発な意見の交換や本気の研究所の創造に取り組みられたい。	（仮）川西ブランド研究所の創設	68.8	川西ブランドを認知していただくための販売体制や拠点整備を行うためには、消費者の視点での開発やマーケティングを実施する機関の早急な創設が必要である。	
			資源、情報の活用と発信	68.8	インターネット等を活用した町内の資源や情報の発信について、内容を工夫しながら川西ファンの拡大を図られたい。	
			産業間のネットワークの促進	62.5	産業間のネットワークを促進するためには、農商工連携の強化と行動計画の構築とともに、地域資源の有効活用が必要である。	
			地場産品の開発と流通の促進	75.0	生産から流通までの総合産業化に向けた調査研究を積極的に行い、地場産品を確立されたい。	
新たな産業づくりの促進	課題あり	政策実現に向け事務事業を進め、早期に施策へ反映されたい。また、新たな産業づくりに向け具体的なプログラムを明確化し、事務事業を進められたい。	コミュニティビジネスの創造	75.0	「グリーンツーリズム」や「やまがた里の暮らし」のみならず、ビジネス化に向けた企画や取り組みを推進されたい。	
			新エネルギー利活用の調査、研究	75.0	新エネルギーとしての雪エネルギーの安定稼働を図るとともに、太陽光発電等の拡充も図られたい。	
			起業の育成、支援	75.0	新たな事務事業の設定と事業者への制度周知を図られたい。	

第2項 持続し発展する農業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
多様な担い手の育成	概ね順調	新たな農業の担い手を育成支援する具体的方策を進められたい。また、順調とはいえ担い手の育成には、今後一層の努力を図られたい。	新たな担い手の育成、支援	81.3	さらなる支援策やPR活動により農業の継続と発展を推進されたい。	
			経営形態に合わせた担い手の育成	81.3	農業を振興する担い手に対し、具体的な支援策を明確にし、継続して支援されたい。	
			支援体制の充実	81.3	経営安定のための制度資金を継続されたい。	
産学公連携による支援拠点づくりの促進	概ね順調	産学公との連携で具体的な取り組みを明確化されたい。	置賜農業高等学校との連携強化と機能充実の促進	75.0	置賜農業高校との連携により、人材の育成や技術指導の機能を充実されたい。	
地域営農システムの確立	概ね順調	地域営農の確立に向け、今後一層の取り組みを期待されたい。	地域営農組織の育成、法人化の推進	81.3	具体的かつ円滑な取り組みによる需給システムを推進されたい。	
			農地の集積化	81.3	農地の管理や集落機能の活性化による営農を推進するとともに、法人化等を含めた具体的手法により推進されたい。	
競争力の高い水田農業の確立	概ね順調	環境保全型の農業を推進しながら、川西米のブランド化で販売促進を強化されたい。	環境保全型農業の推進	81.3	安心安全な農業を推進する農家への支援やエコファーマーの育成を継続されたい。	
			付加価値の高い売れる米づくりの推進	81.3	消費者動向の把握と具体的な戦略の明確化により販売を促進するとともに、生産意識の向上と米粉利用の推進を図られたい。	
高収益型周年農業の推進	概ね順調	地域特産や市場ニーズで戦略的作物の事業展開を図られたい。また、各地区や地域で頑張っている農家も多数いるため、一層のバックアップを図られたい。	戦略的作物による産地づくりの推進	81.3	地域特性や市場ニーズを考慮した戦略的経営と新規作物の導入を推進されたい。	
			畜産の振興	81.3	米沢牛の主産地として、販売強化等の事業展開を図られたい。	
			林産物の振興	81.3	川西産木材の需要促進により町内の経済活性化を図られたい。	
信頼をつくる生産流通体制の確立	概ね順調	食の安全安心を進める生産流通体制の確立を図られたい。	食の安全の確立	81.3	安全安心な農産物の生産と食の消費を拡充されたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
食生活、食文化を通じた豊かな生活の推進	概ね順調	食育や食農について多様な機会に推進されたい。	食農教育の推進	81.3	食と農による教育と健康づくりを推進しながら、地産地消の充実も図られたい。	
農村環境、生産基盤の整備と保全	概ね順調	国県との連携を図りながら計画的な事業を推進されたい。	生産基盤の整備	81.3	今後とも国県との連携を図りながら推進されたい。	
			主体的な維持管理活動の推進	81.3	今後とも継続的に推進されたい。	
森林の保全と緑化の推進	概ね順調	森林の多目的な活用でさらなる進展を図られたい。	森林保全、緑化推進	75.0	森林災害予防、森林整備等により住民の健康や安全を確保されたい。	

第3項 賑わいのある商業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
人材育成と組織づくり支援	課題あり	後継者、人材育成、後継者づくりに具体的な支援事業の構築を明確化し、施策を見直されたい。	後継者、人材の育成支援	62.5	後継者や人材を育成するとともに、企業の振興と発展のための新たな事務事業を検討されたい。	
			組織づくり支援	68.8	行政との連携を強化しながら中心市街地の活性化を図る事務事業を構築されたい。	
商業経営への指導支援	概ね順調	商工会運営支援でさらなる活性化や消費につながる施策の展開を図られたい。また、今後の進展を図るために、各組織の意識を改革されたい。	経営指導の強化	81.3	地域経済の活性化や消費を喚起するため、さらなる事業の展開を検討されたい。	
中心市街地の賑わいづくり支援	概ね順調	賑わいづくりより先に人づくりが大切であり、地域住民との話し合いを継続して検討されたい。また、きれいな魅力ある街づくりの支援事業のさらなる展開により、関係機関と連携されたい。	魅力ある店舗づくり支援	75.0	中心市街地の活性化を図る事務事業を構築し、農商工連携や魅力ある店舗づくりを推進されたい。	
			きれいな街づくり支援	81.3	中心市街地活性化計画をもとに、地域住民、関係団体、行政の連携を深め、役割分担や方向性を明確にしながら推進されたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地場産品の活用	概ね順調	商品開発や地場産品の推進を図られたい。	商品開発への支援	81.3	各事業者との連携と支援策の明確化を図られたい。	
			地場産品の販路拡大	68.8	地場産品の販路拡大のための、販売事業者との連携と継続的な支援を図られたい。	

第4項 ものづくりを育む工業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
企業誘致の推進	課題あり	現下の経済不況により企業誘致推進は難しいが、施策を支える事務事業を検討されたい。	誘致促進に向けた環境づくり	68.8	町の土地利用計画と調整を図りながら企業誘致を促進し、雇用の確保や所得の向上及び若者の定着化を図られたい。	
			融資、奨励金等の支援	81.3	融資等の継続支援により、誘致企業の安定化を図られたい。	
企業の経営安定支援	課題あり	政策推進のためにも施策を支える事務事業を検討されたい。	企業間の交流促進	75.0	積極的な情報交換の場の設定に努めながら、安定した人材育成や経営支援を図られたい。	
			各種制度を活用した経営支援	81.3	金融対策などの継続的な取り組みを図られたい。	
起業支援	課題あり	政策に対して、施策の事務事業が不十分であり、見直しや構築を図られたい。	起業、開発支援	81.3	金融対策などの制度を周知するとともに、新たな事務事業を検討されたい。	
			多様な就労活動への支援	81.3	高齢者の健康維持と就労の場を確保するため、需要のある事業により支援されたい。	
雇用対策活動支援	課題あり	政策推進を図る上で、施策構成及び事務事業の見直しを検討されたい。	雇用活動に対する相談支援	81.3	経済・雇用不況を打破できるよう継続して支援されたい。	
			勤労者の福祉向上支援	75.0	制度資金や融資等の支援を継続的に取り組まれたい。	

第5項 資源活かした観光の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤの高付加価値化とブランド力の向上	概ね順調	ダリヤのブランド化にむけ、一層の取り組みを強化されたい。	ダリヤ栽培管理体制の充実	81.3	ダリヤの適正な栽培管理により、観光と産業振興の充実を図られたい。	
			ダリヤの普及促進	81.3	ダリヤの栽培技術向上や普及推進について、関係機関との連携を図られたい。	
			ダリヤの産業化の促進	68.8	生産者や関係機関との連携を積極的に取り組まれたい。	
地域資源の活用と交流の促進	概ね順調	地域資源の活用目的を検討し、施策ごとの事務事業をさらに推進されたい。	ふれあいの丘の充実	75.0	内山沢一帯の利用計画を進めながら、ダリヤ園の施設整備やイベントなどと連携されたい。	
			地域資源のネットワーク化と活用	75.0	町内の地域資源や観光資源の活用により各種団体の連携を進められたい。	
			グリーンツーリズムの推進	81.3	グリーンツーリズムによる地域間交流の拡大を図るとともに、具体的な受け入れ体制の整備について検討されたい。	
観光PR活動及び推進体制の充実	概ね順調	観光のPRにむけ、さらなる充実と推進を期待したい。	広域観光の推進	81.3	地域や観光資源を有効活用した企画立案や事業展開を図るとともに、若者が来たくするようなインパクトあるPRをされたい。	
			情報発信、イベントの充実	81.3	観光資源を活用したイベントは、地域活性化に繋がるため、PRにも工夫をしながら若者が魅了されるような情報発信をされたい。	
			推進体制の充実	81.3	地域活性化には、観光産業の発展が必要であるため、推進体制を構築されたい。	

第2節 みんなで支えあい安心して暮らせるまちをつくる

第1項 子育て環境の充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
施設環境の充実	概ね順調	町民の利用者ニーズに対応した、運営整備の継続的な取り組みが必要である。	施設の整備と効率的な運営	81.3	幼児施設再編計画に基づく施設運営と、利用者のニーズに応えられるサービスの充実策を十分に図るとともに、空施設利用計画を早急に講じられたい。	
			保育サービスの充実	81.3	様々な保育サービスのニーズに対応した事務事業の展開を図られたい。	
子育て支援センター機能の充実	概ね順調	利用者の利便性向上を最重点課題と位置づけ、今後とも継続的な取り組みが必要である。	相談体制、情報提供の充実	81.3	相談体制の充実、情報ツールの活用を図り、きめ細かな情報提供を図られたい。	
			交流と遊びの場の提供	81.3	各地区で行われている場の提供への支援継続を図るとともに、利用しやすい環境を整備されたい。	
			地域子育て団体等との連携	81.3	各地区で行われている育児サークルへの連携支援の充実を図られたい。	
地域子育ての充実	概ね順調	地域格差が生じないよう、利用者ニーズを十分反映し、地域の実情に沿ったサービスを提供されたい。	子育てサークル、託児ボランティアの育成	81.3	施策の有効性を担保するため、リーダーの育成をはじめとする事務事業の一層の強化支援を図られたい。	
			ふれあいの場、遊びの場の空間づくり	81.3	施策の有効性を担保するため、事務事業の一層の強化支援を図られたい。	
			放課後児童の健全育成	81.3	施策の有効性を担保するため、事務事業の一層の強化支援を図られたい。	

第2項 元気づくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
元気づくり活動の充実	概ね順調	関連事業との連携及び団体育成等課題が多く、町民ニーズに対応した施策・事務事業を精査し、再構築する必要がある。	健康体力づくりの推進	81.3	施策に対する事務事業を精査し、総合的な再構築が必要である。	
			元気づくり団体の育成支援	81.3	施策に対する事務事業を精査し、総合的な再構築が必要である。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、受診率の向上、指導の充実等の継続的な取り組みと効率的な運用が必要である。	指導、相談体制の充実	87.5	検診受診率の向上とフォローアップの充実を図るとともに、健康管理システムの整理を図られたい。	
			保健事業の推進	87.5	町民ニーズを把握し、検診受診率の向上に向けた工夫を図られたい。	
生活習慣病予防と感染症予防の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも効率的・継続的な取り組みが必要である。	生活習慣病予防の推進	87.5	施策に対する事務事業の一層の強化を図るとともに、周知方法にも工夫を講じられたい。	
			感染症予防の推進	93.8	施策に対する事務事業の一層の強化を図るとともに、周知方法にも工夫を講じられたい。	

第3項 健康・医療・福祉・介護の連携

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康、医療、福祉、介護の連携強化とサービスの向上	課題あり	健康福祉センターのあり方を明確にし、政策推進を図るうえで、施策、事務事業とも一括見直しが必要である。	健康福祉センター機能の充実、整備	56.3	センター機能の明確化と川西診療所との関係を整理し、全体的な構想が必要である。	

第4項 介護予防と支援体制の充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域包括支援体制の構築	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも一層の連携強化の取り組みが必要である。	地域包括支援センターの創設	87.5	施策の方向性を明確にし、さらなる機能の充実を図られたい。	
			介護予防の推進	87.5	事務事業の一層の充実を図り、介護支援事業と健康推進事業との整合性を図られたい。	
			継続的な介護支援	93.8	関係機関との連携によるケア体制の構築を図られたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
介護保険制度の適正な運用	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも効率的・継続的に取り組まれない。	在宅介護サービスの充実	87.5	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図られたい。	
			施設介護サービスへの支援	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図られたい。	
			家族介護者への支援	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の一層の強化を図られたい。	

第5項 地域医療の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域医療環境の充実	概ね順調	政策推進を図るうえで、川西診療所のあり方を明確にし進める必要がある。	公立置賜総合病院との連携強化	93.8	施策に対する事務事業の一層の強化を図られたい。	・公立置賜総合病院の医療の更なるレベルアップを望む。
			川西診療所の機能充実	81.3	診療所の機能強化とともに、今後の施設及び診療体制のあり方について明確化を図られたい。	・川西診療所の外来延べ患者数がピークの平成13年度から激減しているのはなにか問題があるのではないか。
			町内医療機関との連携	93.8	事務事業の一層の強化を図られたい。	
			医療給付の適正な運用	100.0	適正な制度運用を図られたい。	

第6項 高齢者の社会参加の促進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
高齢者が活躍できる場の創出	概ね順調	政策推進を図るうえで、施策及び事務事業の再構築が必要である。	同世代、他世代間との交流の場の創設	81.3	他世代との交流の場の創設に向けた具体的な事務事業の一層の展開を図られたい。	
			学習機会の提供	81.3	施策に対する事務事業の再構築を図られたい。	
			主体的活動への支援	81.3	活動支援対策の検証及び支援のあり方について検討を図られたい。	
			就労機会の拡大	87.5	シルバー人材センターを核として、目的に合わせた受け皿づくりを図られたい。	

第7項 ノーマライゼーションの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
福祉相談機能の充実	概ね順調	関係機関及び団体等との連携を強化し、一層の充実を図られたい。	福祉相談窓口の充実	87.5	民生児童委員の負担軽減のため、研修等による職員のスキルアップを図られたい。	
			いじめ、虐待防止ネットワークの整備	87.5	関係機関及び団体等との連携強化し、きめ細かな対応を図られたい。	
地域社会福祉の充実	概ね順調	関係機関及び地域連携を強化し、支える仕組みづくりの一層の充実を図られたい。	生活保護、母子家庭等支援	93.8	施策実現に向けた取り組みとひとり親家庭に対する支援策の検討を図られたい。	
			福祉関係団体との連携強化	93.8	福祉関係団体との一層の連携強化を図られたい。	
			地域支援体制の充実	93.8	地域全体で支える仕組みが必要であり、NPOやボランティア団体等との連携強化を図られたい。	
障がい者の生活支援サービスの充実	概ね順調	障害者への住民理解の高揚のため、相互に支える仕組みづくりの事業展開を図る必要がある。	障がい者への住民理解の高揚	81.3	施策に対する具体的な事務事業の再構築を図られたい。	
			在宅生活支援の推進	81.3	サービスの適正化、有効性を検証し、着実な事務事業の推進を図られたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
自立支援、社会参加の促進及びバリアフリー化の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも効率的・継続的に取り組まれない。	自立支援、社会参加の促進	87.5	自立支援、社会参加に向けた一層の事務事業の充実を図られたい。	
			公共施設のバリアフリー化の推進	81.3	バリアフリー化の推進に向けた、公共施設のさらなる取り組みを図られたい。	

第8項 危機管理体制の確立

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
危機管理に対する意識の向上	課題あり	政策推進を図るため、具体的取り組みと実効性が求められる。	危機事態の情報収集及び調査、研究	81.3	想定外に対する危機管理のあり方についても調査研究を図られたい。	
			危機事態に対する町民への意識啓発	81.3	意識啓発に向けた具体的施策展開の一層の充実を図られたい。	
災害予測対策の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後一層の取り組みが求められる。	情報受発信体制の強化	81.3	CATV網を活用し、テレビ文字放送とメール一斉配信による住民への防災情報等の告知を図られたい。	
			教育、訓練の充実	81.3	防災訓練の内容の再構築が必要であり、地震のみならず風水害対策についても検討を図られたい。	
			災害予測調査の推進	81.3	災害予測調査については、ハザードマップの作成等を行うとともに、本町及び関係機関と連携強化を図られたい。	
			機器、資材等の整備、危険個所の解消	81.3	防災備品の備蓄強化が必要であり、備品保管場所についても早急に検討を図られたい。危険個所の解消に向けた取り組みの一層の強化を図られたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
危機管理体制の整備	概ね順調	政策推進を図るうえで、総合防災計画をもとに方向性を明確にする必要がある。	専門的な人材の育成	81.3	専門的知識と危機管理能力を身に付けた人材の育成を図られたい。	
			自主防災組織の育成	81.3	各地区の自主防災組織との連携強化に向けた仕組みづくりを図られたい。	
			総合防災体制の整備	81.3	大規模災害時における、広域防災体制の充実に向けた具体的仕組みづくりの構築を図られたい。	
			広域防災体制の充実	87.5	広域防災体制に向けた具体的仕組みづくりが必要である。	
防災拠点として庁舎及び公共施設の機能調査	概ね順調	政策推進を図るうえで、調査結果に基づき早急な整備対応が求められる。	庁舎建設に向けた調査検討	68.8	庁舎の一部改修は進んだが、防災センター機能としては程遠く、あり方も含め調査検討を早急を図られたい。	
			公共施設の耐震調査と整備	87.5	耐震調査結果を受け、計画的な整備を継続的に図られたい。	

第9項 防犯・交通安全の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活安全に向けた体制整備	概ね順調	政策推進を図るうえで、生活安全条例に基づき、総合的な体制づくりが求められる。	関係機関との連携、強化	87.5	施策としては概ね適切であり、より一層の機能強化を図られたい。	
			地域ぐるみの防犯体制づくり	87.5	各地区ごとのニーズや状況に合った防犯活動の推進体制の一層の強化を図られたい。	
防犯活動の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、施策の方向性を明確にし、事務事業の更なる展開が求められる。	防犯意識の高揚	87.5	住民全体の意識高揚に向けた事務事業の設定を図られたい。	
			防犯設備の整備促進	87.5	地域要望による防犯灯整備とともに全町的な視点からの必要箇所の選定、維持管理体制のあり方等の検討を図られたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
交通安全活動の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、さらなる安全性の追求に向けた、継続的な取り組みが求められる。	関係機関との連携、強化	93.8	なお一層の安全協会の組織力強化に取り組まれない。	
			交通安全教育の推進	87.5	関係機関、団体との連携をしい層の事務事業の展開と指導員のスキルアップを図られたい。	
			交通安全施設の整備促進	93.8	積極的な取り組みを図られたい。	

第10項 消防・救急体制の強化

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
消防体制の充実	概ね順調	政策推進を図るため、諸課題解決への道筋を明確にし、有効性のある事業展開が求められる。	火災予防の推進	87.5	各事務事業を通して施策実現に向けた取り組みを一層強化されたい。	
			消防、防火施設の整備	87.5	消防力整備計画に基づき、諸状況を勘案して継続的に進められたい。	
			消防活動の充実	87.5	施策実現に向け、継続的に取り組まれたい。	
			消防団の再編と自主防災組織との連携	87.5	消防団員の確保と未組織地区への団員配備に努め、自主防災組織との一層の連携強化を図られたい。	
救急体制の強化	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも効率的・継続的な取り組みが求められる。	応急活動の推進	87.5	施策としては概ね適切であり、より一層の展開を図られたい。	
			メディカルコントロール体制の強化	87.5	施策に対する事務事業の充実を図られたい。	
消防、救急体制の広域連携等の調査研究	概ね順調	政策推進を図るため、広域化に伴う最大限の効果が発揮されるよう、着実な進展が必要である。	広域連携等の調査、研究	87.5	消防の広域化による最大の効果が望まれることから、住民周知も含め、着実な準備を図られたい。	

第3節 住み良い環境を創り次世代につなげるまちをつくる

第1項 計画的な土地利用の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
歴史や文化など地域資源を活用した中心市街地づくりの推進	課題あり	政策実現するための進捗がなく、具体的な事務事業を推進されたい。また、中心市街地づくりの推進を図るため、政策を支える施策との連携が図られる事務事業を設定されたい。	町民と行政の協働による街づくり推進体制の構築	81.3	地域づくりに対する指導・助言の強化を図るとともに、諏訪峠保存事業の整備や事業について検討されたい。	
			街づくりデザインの確立	68.8	街並み保存再生事業として事務事業の明確化を図り推進されたい。	
			中心市街地の賑わいづくりの支援	75.0	中心市街地の地域活性化を図るため、「だり庵」のような創意工夫を促進されたい。	
			羽前小松駅の多角的利活用の推進	81.3	小松地区の地域づくりの課題として、「えき・まちネット こまつ」と連携し運営の充実を図られたい。	
			都市計画の見直し	81.3	国県の動向を注視しながら具体的取り組みを推進されたい。	
ダリヤ園、内山沢一帯の土地利用の構築	課題あり	政策推進のため、施策を実現させる事務事業を展開されたい。	ふれあいの丘の整備	75.0	ふれあいの丘の整備・活用を明確にしながら事務事業を進められたい。	
			協働の杜の創造	75.0	ダリヤ園の事業のみならず、さくらの丘づくり推進のためのさくら見守り隊や管理ボランティアの活動を支援するとともに、多種多様な構想を考え行動されたい。	
下小松古墳群周辺の土地利用の構築	概ね順調	政策推進のため、土地利用構想を明確にし、地域関係団体と連携して取り組まれたい。	古墳、里山、山野草(植生)を活かした憩いと学習の丘の整備	81.3	山野草や自然環境については、地域関係団体等と連携しながら管理と支援を図られたい。	
公立置賜総合病院周辺の土地利用の構築	課題あり	地域住民への情報開示と連携を図り、土地利用計画に基づいた事務事業を進められたい。	広域的視点に立った土地利用の推進	75.0	国土利用計画をもとに、地元住民と協議・連携をしながら具体的に進められたい。	
			医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	75.0	地域住民と連携調整を図りながらまちづくりを推進されたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
町内各地区の特性を生かした土地利用の推進	課題あり	政策推進において各地区の特徴を生かすとともに、具体的事務事業の設定により地域づくりを進められたい。	地域資源の発掘と地域デザインの確立	56.3	各地区が地域の特徴を生かし、住民と共に地域づくりを推進されたい。	
			相互連携による土地利用の推進	56.3	各地区が地域の特徴を生かし、住民と共に地域づくりを推進されたい。	
土地利用の適正管理と地籍調査の推進	概ね順調	国土利用計画の推進を図りながら継続的に取り組まれたい。	川西町国土利用計画に基づく土地利用の適正な管理運営	81.3	県との情報交換を図りながら、国土利用計画の推進を図られたい。	
			地籍調査の推進	75.0	進捗率が20%弱であることから、今後一層の進展を図られたい。	

第2項 交通基盤の整備

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
道路交通基盤の整備とネットワーク化の促進	概ね順調	道路交通網整備には国や県に対して働きかけ、推進されたい。	幹線ネットワークとしての縦軸と横軸の整備促進	81.3	国や県等への働きかけや要望により、尚一層の進展を図られたい。	
			幹線の結節による広域ネットワーク化	81.3	主要地方道の歩道整備や防雪柵の設置については、強く働きかけ整備促進を図られたい。	
生活道路等の整備促進	概ね順調	町に合った整備計画に向け継続的に取り組まれたい。	町内道路の整備	81.3	川西町に合った道路整備を今後一層推進されたい。	
			安全施設の整備促進	81.3	地区からの要望を取り入れて実施されたい。	
			維持管理体制の構築	81.3	住民の自発的なボランティア活動を推進するとともに、町としても支援されたい。	

第3項 生活交通の確保

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
町民の視点に立った生活交通システムの構築	概ね順調	町民の声を聞き、問題解決に向けた工夫や改善を推進されたい。	デマンド型乗合交通システムの構築	87.5	町民の移動手段として運行システムの改善を図りながら推進されたい。	
			町民が主体となった移動サービスの構築	62.5	町民の視点で課題解決を検討されたい。	
鉄道の利用拡大の促進	課題あり	利用者減少の中で、課題解決は難しい状況にあるが、県・沿線自治体との新たな連携により利用拡大に向けた取り組みを図られたい。	米坂線及びフラワー長井線の利用拡大	62.5	県や沿線自治体との連携を図りながら取り組みを検討されたい。	
			フラワー長井線を支える仕組みづくり支援	56.3	県や沿線自治体との連携を図りながら取り組みを検討されたい。	

第4項 高度情報基盤の整備

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
高度情報化に向けた環境整備と人づくりの推進	概ね順調	情報化推進のため利用促進を図られたい。	情報化推進のための人づくり	68.8	パソコン教室により多くの町民が参加できるよう検討されたい。	
高度情報基盤を活用した地域情報の受発信と多面的な活用の推進	概ね順調	地域情報の受発信により、具体的・複合的な事務事業を設定されたい。	情報ネットワークの形成	75.0	利用拡大と利便性向上に向けた具体的な取り組みを講じられたい。	
			ネットワーク加入促進と相互利活用の推進	68.8	情報発信のネットワーク拡大と有効性をPRし、尚一層の加入率向上に組み込まれたい。	

第5項 生活環境の整備

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活排水対策の推進	概ね順調	生活排水対策について、計画的に一層の取組展開を進められたい。	公共下水道の計画的な整備	87.5	公共下水道の整備にあたっては関係市町との連携を図るとともに、住民ニーズに応じた事業を計画的に取り組みたい。	
			合併処理浄化槽の設置促進	81.3	生活排水による環境汚染防止を図るために、設置促進を図られたい。	
			公共下水道、農業集落排水施設の利用促進	81.3	未接続世帯の加入促進を図るため、計画的かつ具体的な取組みを推進されたい。	
			河川、水路の美化、浄化活動の促進	81.3	環境保全に対する住民意識の向上を図るため、継続した活動に取り組みたい。	
安定した水道の供給	概ね順調	水道事業の広域化により、関係市町との連携を図りながら安心と安定した水の供給に取り組みたい。	水道施設の計画的な整備と維持管理の推進	87.5	安全安心な水を確保するため、計装設備等の維持管理を推進されたい。	
			水道業務の広域化、共同化の調査、研究	81.3	置賜2市2町の広域化に向け、水道事業のさらなる調査研究に取り組みたい。	
住環境の整備	課題あり	政策推進のために、住宅整備計画や市街地整備計画の策定を行い、事務事業を適正に実施されたい。	地域住宅計画の策定	75.0	住宅整備計画を策定されたい。	
			潤いのある市街地形成の検討	56.3	市街地整備計画を策定されたい。	
克雪及び利雪の推進	概ね順調	政策推進のため、除雪体制や雪の有効利用について事務事業を設定し、事業の拡大を進められたい。	除雪、排雪体制の構築と防雪、融雪対策の促進	87.5	安全な通行を確保するため、計画的な除雪と歩道を考慮した除雪体制を検討されたい。	
			雪の有効利用	81.3	プラザの雪冷房システムの継続と新エネルギーに期待したい。	

第6項 環境の保全

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地球環境の保全	概ね順調	政策推進のため、町民の意識向上や環境基本計画に合わせた事務事業を図られたい。	省資源、省エネルギーの推進	81.3	地球環境問題に対して、一般家庭における取り組みを推進しながら町民の意識向上を図られたい。	
			環境マネジメントシステムの推進	75.0	新しい町独自の環境マネジメントシステムの取り組みについて、環境基本計画と連動した実効性のある取り組みを進められたい。	
環境教育の推進	概ね順調	政策推進のため、環境教育の実践活動を促進する工夫を図られたい。	環境教育の推進	81.3	住民や事業所を巻き込みながら、環境教育の実践活動を工夫されたい。	
			団体、人材の育成	75.0	環境に対する意識を広め、組織的な活動を具体化されたい。	
良好な環境保全と次世代への継承	概ね順調	政策推進のため、環境保全に対する意識向上を図り、事務事業を推進されたい。	ごみの減量化の推進	87.5	ごみの減量化へさらなる理解と協力を図られたい。	
			豊かな自然環境の保全	81.3	環境保全については、町民と行政が共通の認識を持ち、次世代へと継承されたい。	
			快適な生活環境の創造	81.3	環境保全に対するさらなる住民の意識向上を図られたい。	
新エネルギーの調査研究と利活用の推進	概ね順調	政策推進のため、雪以外の新エネルギーの推進を図る具体的事務事業を検討されたい。	自然エネルギーの利活用	81.3	気象条件及びコストなどに課題はあるものの、家庭用太陽光発電等自然エネルギーの普及に期待されたい。	
			リサイクルエネルギーの利活用	62.5	具体的事務事業の検討及び整理を図られたい。	
			クリーンエネルギーの利活用	62.5	具体的事務事業の検討及び整理を図られたい。	

第4節 人と地域が共にかがやくまちをつくる

第1項 ダリヤのまちづくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤ（花）を育み、町を愛でるまちづくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、町民を巻き込んだ実効性のある事業展開が必要である。	（仮）花づくり銀行の創設	81.3	町民の理解が不十分と思われるため、3年間の取り組みを検証し、政策に繋がる施策となっているか整理を図られたい。	
			花いっぱい運動の推進	81.3	町民主体の取り組みの継続にあたり、事業内容の見直し検討を図られたい。	
			ダリヤロードの構築	75.0	ダリヤロードとしての景観が構築されるよう推進体制の整備を図られたい。	
			花による景観づくりの推進	75.0	景観づくりの取り組みを再精査し、具体策（デザイン）を講じられたい。	
さくらの丘づくりの推進	課題あり	政策推進を図るため、管理体制の充実、町民への周知徹底を図り、あわせて将来ビジョンを明確にする必要がある。	「協働の杜」の創造	75.0	全体構想の位置づけを明確にし、町民が関心を持ち足を運べる協働の杜の創設を図られたい。	
			地区ごとのさくらの名所、丘づくりの推進	75.0	現存する名所をまず町民に理解してもらい、地区ごとの維持管理体制の強化を図られたい。	・ナラ枯れが深刻な今、そちらの植栽も希望する。

第2項 文化まちづくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別評価
川西文化の次世代への継承	課題あり	政策推進を図るため、将来ビジョンを明確にし、事務事業を早急に洗い出すことが求められる。	歴史的、自然的文化財の調査、保護及び学習プログラムの提供	75.0	下小松古墳群に駐車場とトイレができたことは評価できる。看板や案内板などさらなる利便性の向上と利活用に対する事務事業の再構築を図られたい。	・資料館が常時開館していないのがかなり残念で不満である。
			地域文化の継承と活用	75.0	施策に対する事務事業の設定が不十分であり、事務事業の再構築を図られたい。	
			下小松古墳群を核とする憩いと学習の丘の整備	81.3	整備に向けた全体構想を明確にし、さらなる利便性の向上、利活用を推進できる学習プログラムの設定を図るほか、古墳群の自然環境の保全に努められたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別評価
芸術文化の発信と川西文化の創造	概ね順調	政策推進を図るため、施設の有効活用と人材・団体の育成支援の継続的な展開が必要である。	人材、団体の育成支援	75.0	人材、団体の育成に向け、若い世代が参加しやすい環境の整備と支援体制の一層の充実を図られたい。	・芸術鑑賞会を子どもが喜ぶ内容のものにしてほしい。
			(仮)アートサポートシステムの構築	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	
			活動の場、発表機会の創出	81.3	施策としては概ね適切であり、今後一層の充実を図られたい。	
			フレンドリープラザの充実	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	
			遅筆堂文庫の充実と利活用の推進	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	・シベールとの相互関係で川西にも恩恵が受けられるように。
			町立図書館の充実	87.5	施策としては概ね適切であり、今後の利活用の一層の推進を図られたい。	

第3項 地域分権社会の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域コミュニティの再構築	課題あり	政策推進を図るため、地区経営母体の運営強化支援と地域自治再生に向けた取り組みが必要であり、連携のあり方を整理し町民に示す必要がある。	地域自治再構築への支援	62.5	地区経営母体との関係性を明確にし、自治会や集落の再生に向けた取り組みを明確にされたい。	
			相互扶助とボランティアの醸成	81.3	施策としては概ね適切であり、今後一層の支援を図られたい。	
地域づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、今後とも継続した取り組みと十分な支援策を講じられたい。	地区ごとのまちづくり計画（地区計画）の策定促進	81.3	町の総合計画との連動、地区課題の解消に向けた協働による役割分担の明確化を図られたい。	
			地域自立支援制度の確立・導入	81.3	さらなる進展に向け、継続した取り組みと十分な支援策を講じられたい。	
			地域づくりの核となる「人づくり」や地域実践活動の支援	75.0	今後とも継続した取り組みとファミリーテーターや団体育成に繋がる事務事業の展開を図られたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域の宝を生かす活動の推進	課題あり	政策推進を図るため、今後とも継続的な取り組みが求められるが、具体的な事務事業を再構築する必要がある。	地域（人、物、歴史）を知る学習活動の促進	75.0	施策を構成する事務事業が不十分であり、具体的な事務事業を設定されたい。	
			宝を磨くプログラムの実施	75.0	施策を構成する事務事業が不十分であり、具体的な事務事業を設定されたい。	

第4項 交流の拡大

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
交流基盤の構築	課題あり	政策推進を図るため、施策の実効性を高め、具体的な取り組みをより一層進展させる必要がある。	交流拠点の機能充実	75.0	機能強化に向けた事務事業の設定を図られたい。	・「〇〇の丘」と付いているが、住民の理解は得られていないと感じる。わかりやすい全体像の周知を望む。
			交流資源の充実、ネットワーク化	75.0	やまがた里の暮らし推進機構との連携や農家民宿の育成に向けた事業の展開を図られたい。	
			情報提供システムの構築	75.0	かわにしファン拡大に向け、情報提供サービスの充実を図られたい。	
地域間交流、国際交流の推進	概ね順調	政策推進を図るため、事務事業の再構築を図り、広がりのある交流事業にする必要がある。	各種交流事業の促進	81.3	施策を構成する事務事業が不十分であり、全体像を明確にし再構築を図られたい。	・各地域での取り組みから地域間への交流へ広がるような展開に期待する。横のつながりが乏しすぎる。
			自治体間、民間の交流連携の推進	81.3	施策を構成する事務事業が不十分であるため、事務事業の設定について見直しを図られたい。	
			国際交流の推進	81.3	施策として概ね適切であり、継続した支援策を講じられたい。	
交流人材の育成と川西ファンの拡大	課題あり	政策推進を図るため、施策の有効性を担保する具体的な事務事業の設定が必要である。	交流人材の育成	68.8	人材バンクの再構築、育成に向けた事務事業の設定を図られたい。	
			川西ファンの拡大	75.0	川西ファン拡大に向けた具体的な事務事業の再構築を図られたい。	

第5項 教育環境の整備・充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
教育内容の充実	概ね順調	政策推進を図るため、今後さらなる事務事業の進展を図られたい。	地域の特徴を活かした教育の推進	87.5	施策として概ね適切であり、地域性を生かした教育の取り組みの今後さらなる展開を図られたい。	
			新たな社会に対応した学習体制の充実	81.3	施策として概ね適切であり、今後さらなる展開を図られたい。	
			教職員研修、指導体制の充実	87.5	施策として概ね適切であり、今後さらなる事務事業の推進を図られたい。	
教育環境の充実	概ね順調	政策推進を図るため、学区再編、施設整備、給食の総合的效果を精査し、安心、安全が確保できる施策展開を図られたい。	学習効果を勘案した学区の再編	81.3	中学校統合の効果を検証し、小学校再編の方向性について明確にしていく必要がある。	
			学校給食の効率的、効果的運営	87.5	安心、安全を確保するため、今後も継続的な対応を図られたい。	
			施設の計画的な整備	87.5	安心、安全を確保するため、施設維持管理計画に基づき、迅速な対応を図られたい。	

第6項 生命の教育の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
家庭教育力の向上	概ね順調	政策推進を図るため、家庭教育推進に向けた事務事業の体系化が必要であり、一層の充実が求められる。	教育連携体制の構築	75.0	施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	
			共育環境づくりの推進	81.3	家庭教育の重要性をもっと保護者が認識すべきであることから、施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	・毎年子どもたちが楽しみにしている。買い物学習など日常的なものから宿泊体験まで、交流を深める良い機会となっており、内容を充実しながらの継続が望ましい。
			地域子育ての意識づくりの推進	75.0	施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
こころの教育の推進	概ね順調	政策推進を図るため、事務事業の再設定、再構築により施策の有効性を高める必要がある。	性の教育、いじめ、不登校への対応	87.5	施策として概ね有効であるが、幅広い対応を早急に検討すべきである。	
			生き抜く力の育成	87.5	施策として概ね有効であるが、社会力を高める教育プログラムの推進に係る事務事業の設定を図られたい。	
			食育教育の充実	81.3	施策として概ね有効であるが、食育に対する総合的な学習推進を図られたい。	

第7項 生涯学習・生涯スポーツの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
学習推進体制の充実	課題あり	政策推進を図るため、事務事業を精査し、再設定により施策の有効性を確保する必要がある。	施設機能の充実	81.3	施設修繕計画による年次的整備とともに、施設機能としての中央公民館のあり方について検討を図られたい。	
			情報提供の促進	75.0	施策に対する事務事業の設定が不十分であり、事務事業を精査し、再構築を図られたい。	
			交流による人づくりの推進	75.0	施策に対する事務事業の設定が不十分であり、事務事業を精査し、再構築を図られたい。	
主体的な学習活動への支援	概ね順調	政策推進を図るため、学習講座の在り方や地域支援のあり方について、事務事業の見直し、再設定が必要である。	学習講座の提供	81.3	施策として概ね有効であるが、事務事業の設定が必要である。	
			地域活動への支援	81.3	施策として概ね有効であるが、支援のあり方について再構築を図られたい。	・「すべての子供を対象」としているのに全地区で実施されていないのが残念。また、地域間の提供の差が大きいと感じる。
体づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、関連事務事業を精査し、明確な設定が必要である。	町民一人一体力づくりの定着	81.3	施策を構成する事務事業の再構築を図られたい。	
			スポーツ機会の創出	81.3	スポーツ機会の創出に向けた取り組みの支援を図られたい。	・ホッケーのまちづくり→新たな競技人口の獲得など新たな周知PRの方法が必要ではないか。

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
競技力の向上	概ね順調	政策推進を図るため、今後とも事務事業の一層の進展が求められる。	指導体制の充実	81.3	施策としては概ね適切であるが、指導者育成プログラム設定等の事務事業の再構築を図られたい。	
			ホッケー競技の振興	81.3	施策としては概ね適切であるが、競技普及促進の支援策を図られたい。	
スポーツ環境の充実	概ね順調	政策推進を図るため、各種スポーツ施設の維持管理方針を明確にし、継続的な取り組みが必要である。	施設管理、運営体制の充実	81.3	施策として概ね適切であり、今後とも継続的な運用を図られたい。	
			施設の整備、充実	81.3	施策として概ね適切であるが、維持管理方針の明確化を図られたい。	

第8項 男女共同参画社会の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
社会参画機会の拡大	課題あり	今後とも継続的な取り組みが求められるが、施策としては適合性、効率性に課題があるため、具体的事務事業の設定が必要である。	女性の活躍の場の創出	68.8	施策に対する事務事業を精査し、再構築を図られたい。	・こまつ市の方向性の再検討を求める。現状ではだれもが参画し、様々な世代のチャレンジができるものは程遠い。目指す所がわからない。
			政策、方針決定への男女共同参画の推進	68.8	施策の実現に向けた具体的取り組みを図られたい。	
働くための環境整備	課題あり	女性の社会進出に向けた環境整備が整っていない状況であり、有効な事務事業の設定が必要である。	安心して子育てできる環境の整備	81.3	ニーズの把握をしっかりと行い、子育て支援拠点施設整備を図られたい。	
			女性の能力が発揮しやすい環境の整備	68.8	構成する事務事業の再構築を図られたい。	
意識啓発及び推進体制の確立	課題あり	政策推進を図るため、男女共同参画計画に基づく実効性の高い事務事業の設定が必要である。	男女共同参画意識の醸成	81.3	男女共同参画に向けた事務事業の内容の充実を図られたい。	
			男女共同参画社会実現のための推進体制の確立	81.3	男女共同参画に向けた事務事業の推進体制を図られたい。	

第9項 自主・自律のまちづくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
協働のまちづくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、具体的事務事業を再設定し、さらなる進展を図る必要がある。	川西町まちづくり基本条例の啓蒙	75.0	施策としては概ね適切であるが、本条例がまちづくりの根幹であることから、行政及び町民に対して啓蒙活動を進める必要がある。	
			情報の共有化、広報・広聴活動の推進	81.3	まちづくりを進める基盤となる施策であることから、今後一層の情報の共有化を図られたい。	
			NPO、ボランティア団体等の育成支援	75.0	NPO法人との協働を推進するため、委託可能な事務事業の支援策を講じられたい。	
行政経営システムの確立（役場改革）	概ね順調	政策推進を図るため、継続的な業務改善に向けた取り組みを推進していく必要がある。	第4次川西町総合計画後期基本計画策定	81.3	3つの主要プロジェクトを中心に今後具体化に向けた事務事業の構築を図られたい。	
			川西町集中改革プランの実施	81.3	行政サービスの質の向上に向けた取り組みを推進されたい。	
			行政評価システムの導入	81.3	行政サービスの質の維持・向上及び有効性を高めるための取り組みを推進されたい。	
			環境マネジメントシステムの推進	75.0	行政サービスの質の維持・向上及び継続的な業務改善に向けた取り組みを推進されたい。	
			職員の資質向上	81.3	協働のまちづくりをリードできる人材育成及び資質向上に向けた取り組みを推進されたい。	
広域連携の推進	概ね順調	政策推進を図るため、今後のまちづくりに生かされる取り組みと、調査研究が必要である。	情報共有と相互理解の推進	87.5	情報の共有化や相互理解を得るための具体的取り組みを推進されたい。	
			行政サービスの広域化と広域処理	87.5	定住自立圏構想や広域連携に向けた具体的取り組みを推進されたい。	
			市町村合併に関する調査、研究	75.0	広域連携を軸としながらも、合併後の市や町の動向について情報分析し、今後の協働のまちづくりに生かされたい。	